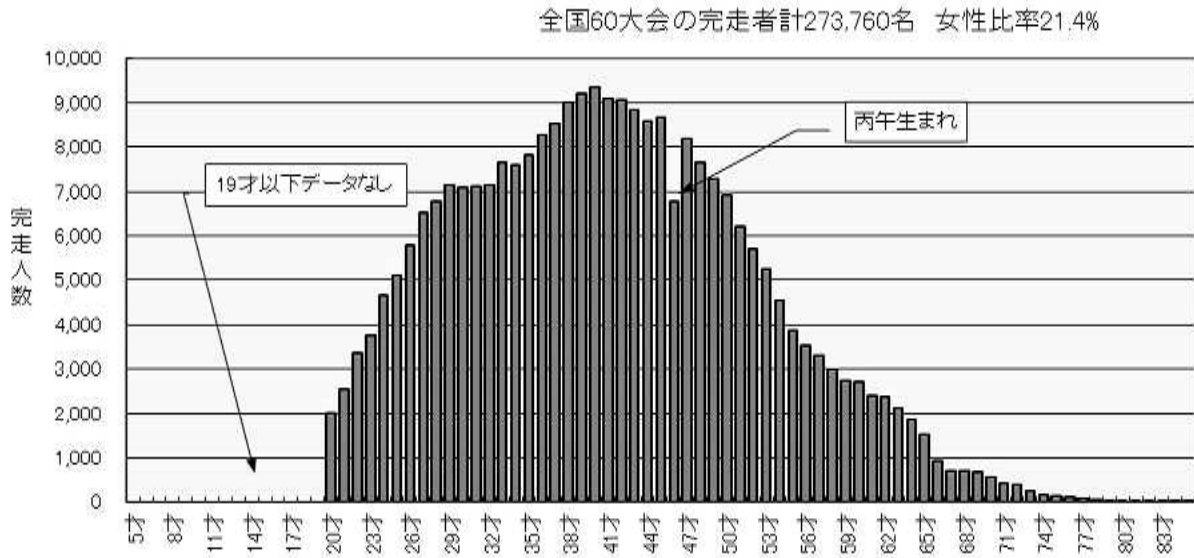


2012年度の全国フルマラソン年齢別ランキングデータ

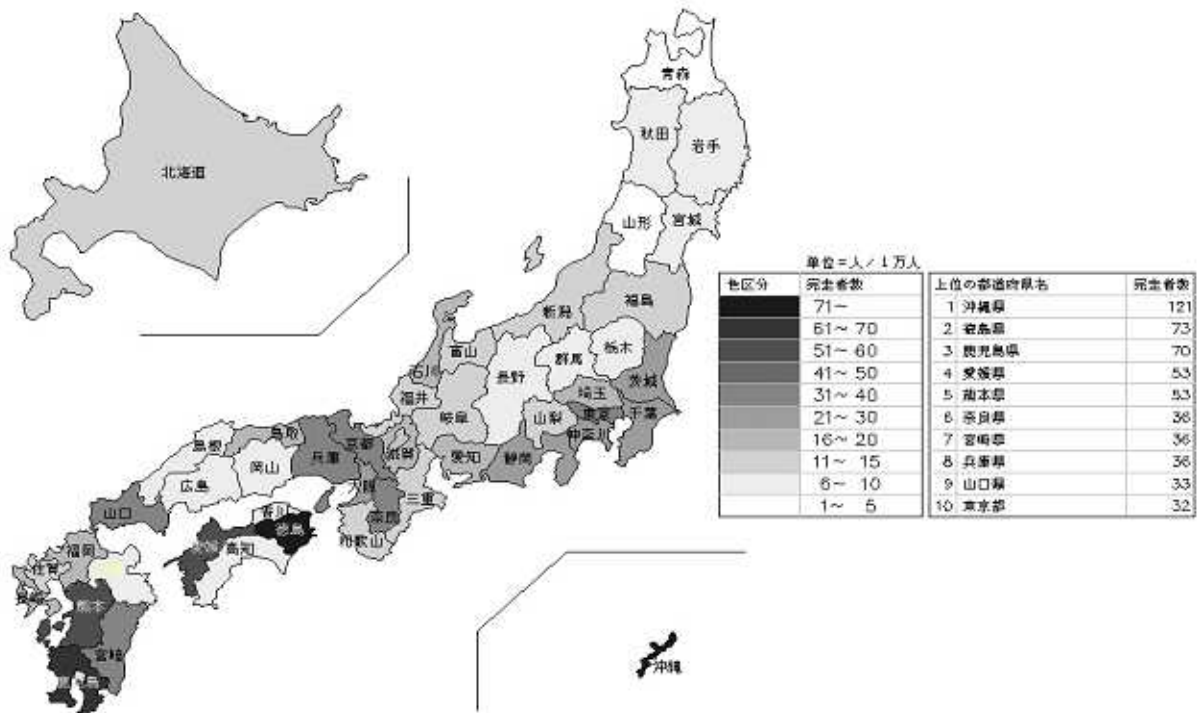
ランナーズの全国年齢別ランキングから分かり易いグラフを作成してみました。

2012年度 全国フルマラソン完走者の年齢分布



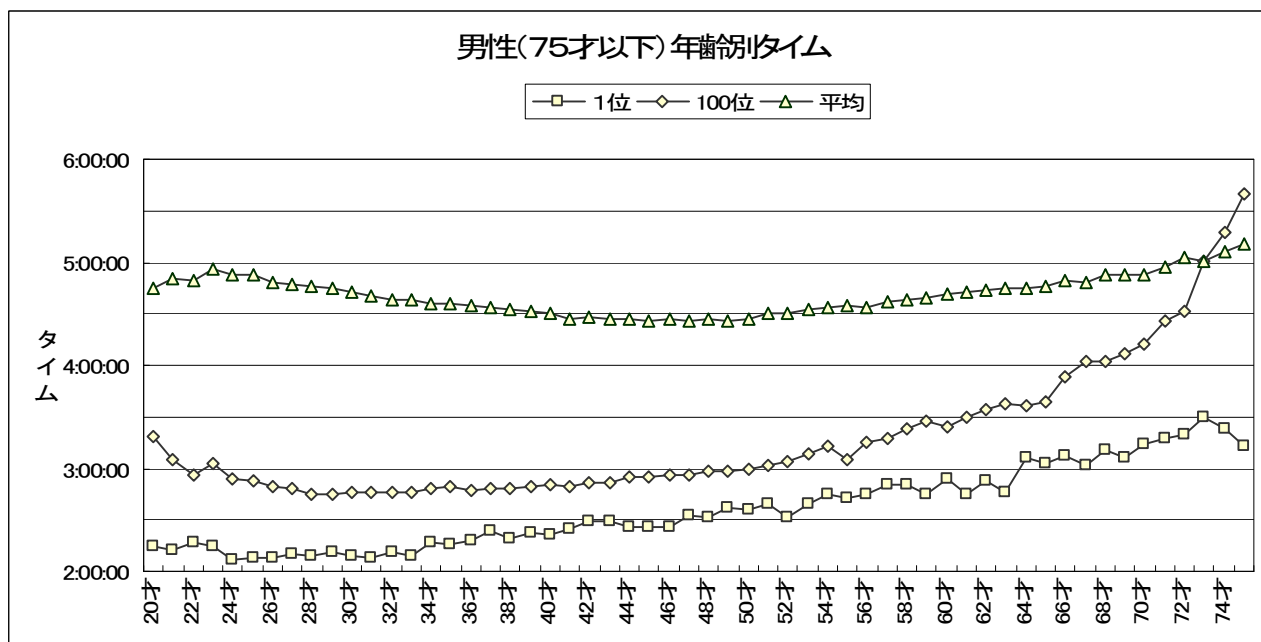
50歳より減少し66歳を超えると極端に少なくなるのが分かります。ピークは40歳です。

都道府県別のフルマラソン完走者(2012年度)

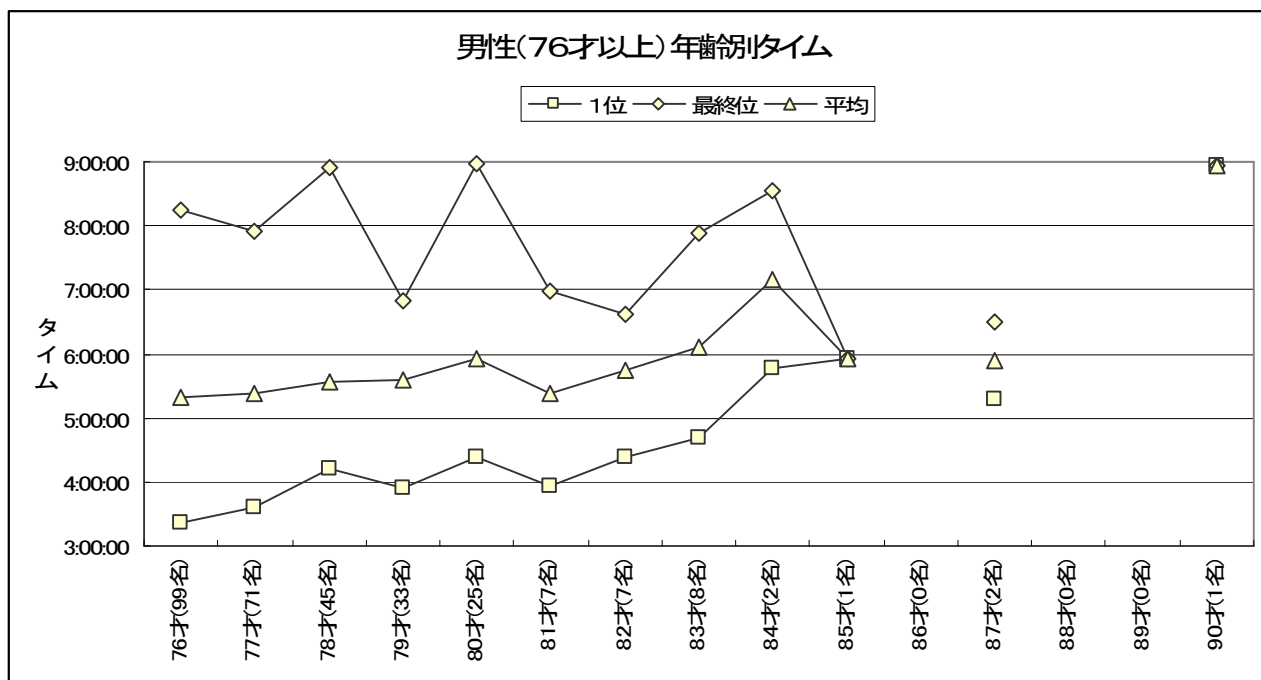


ベスト9位まで西日本の県が占めている西高東低であることが分かります。何と沖縄県は東京都の4倍の完走者(人/1万人)がいます。上位は何れも人気ある大会が開催されている県です。

2012年度の全国フルマラソン年齢別ランキングデータ（その2）

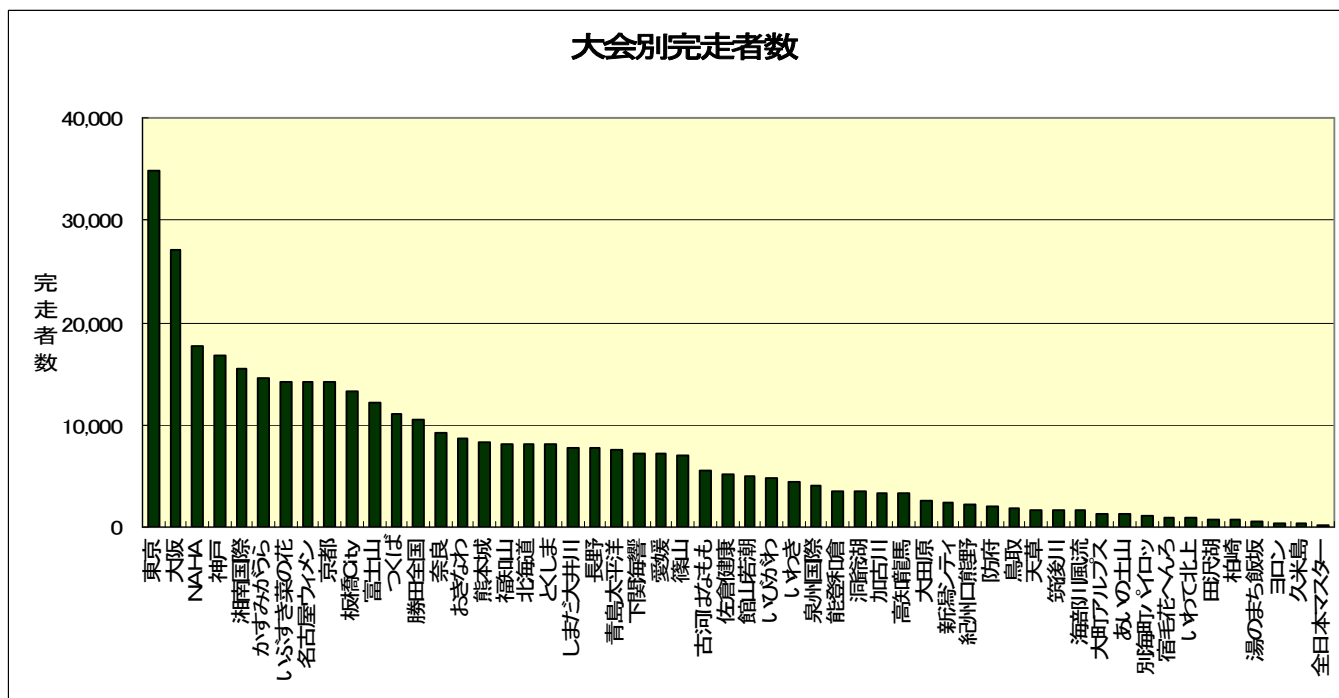


76才以上の完走者は100名に満たないので75才までのグラフとしました。1位タイムは64才から3時間を超えています。平均タイムは40才代後半が最も速く、23才と71才が平均タイムが同じ時間であることは新たな発見でした。100位のタイムは51才から3時間を超えています。74才から完走者が少なくなるため100位タイムが平均タイムを越える逆転現象となっています。

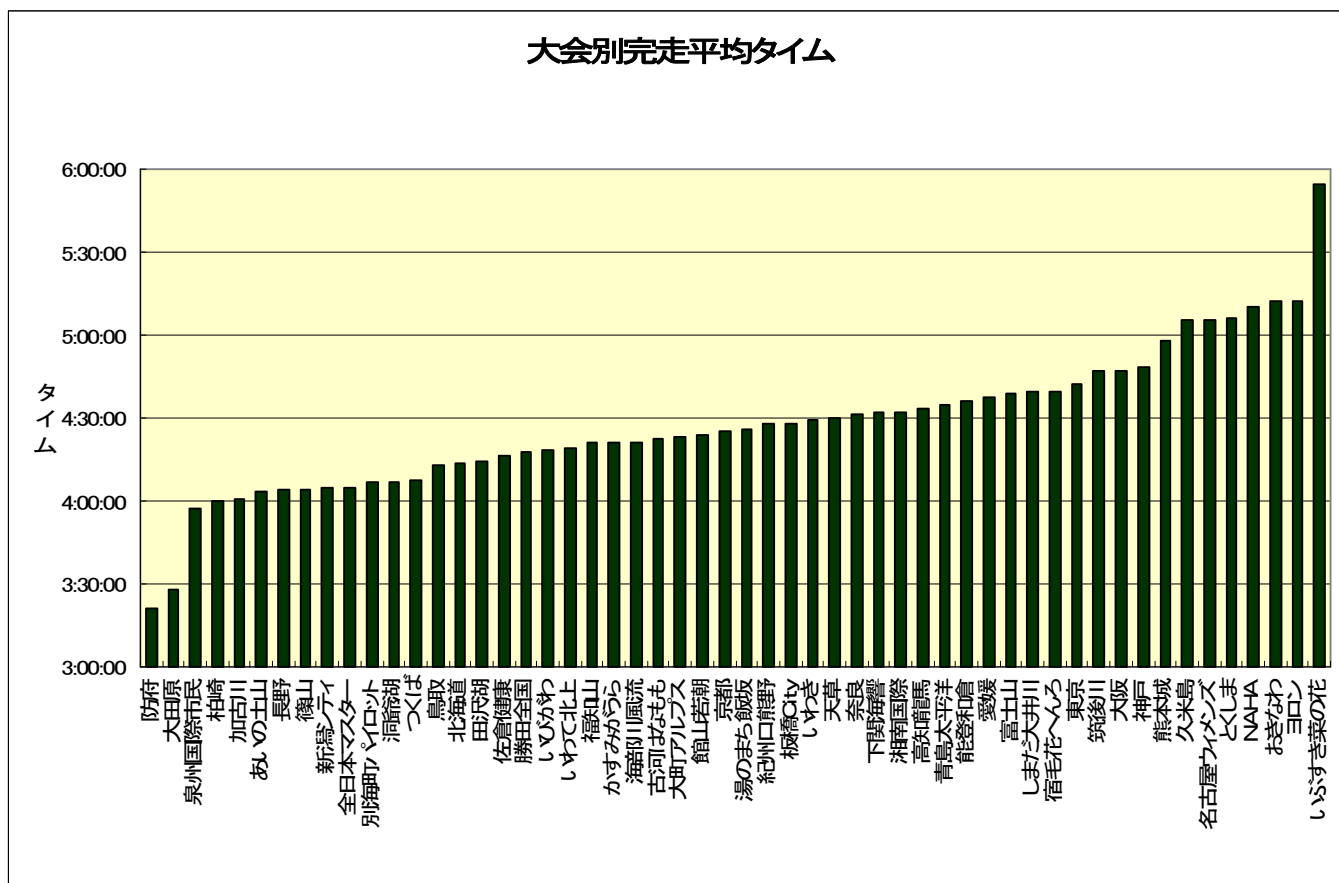


7時間を超える完走者は全員が「いぶすき菜の花」と「海外（ホノルル?）」で走っています。80才を越えても4時間前半で走っている人かいることは驚きです。最高齢完走者は90才でした。完走人数（年令の次のカッコ内が完走人数）から考えるとフルマラソンを走れるのは80才が限界だと言えるのではないかと思います。

2012 年度の全国フルマラソン年齢別ランキングデータ(その3)

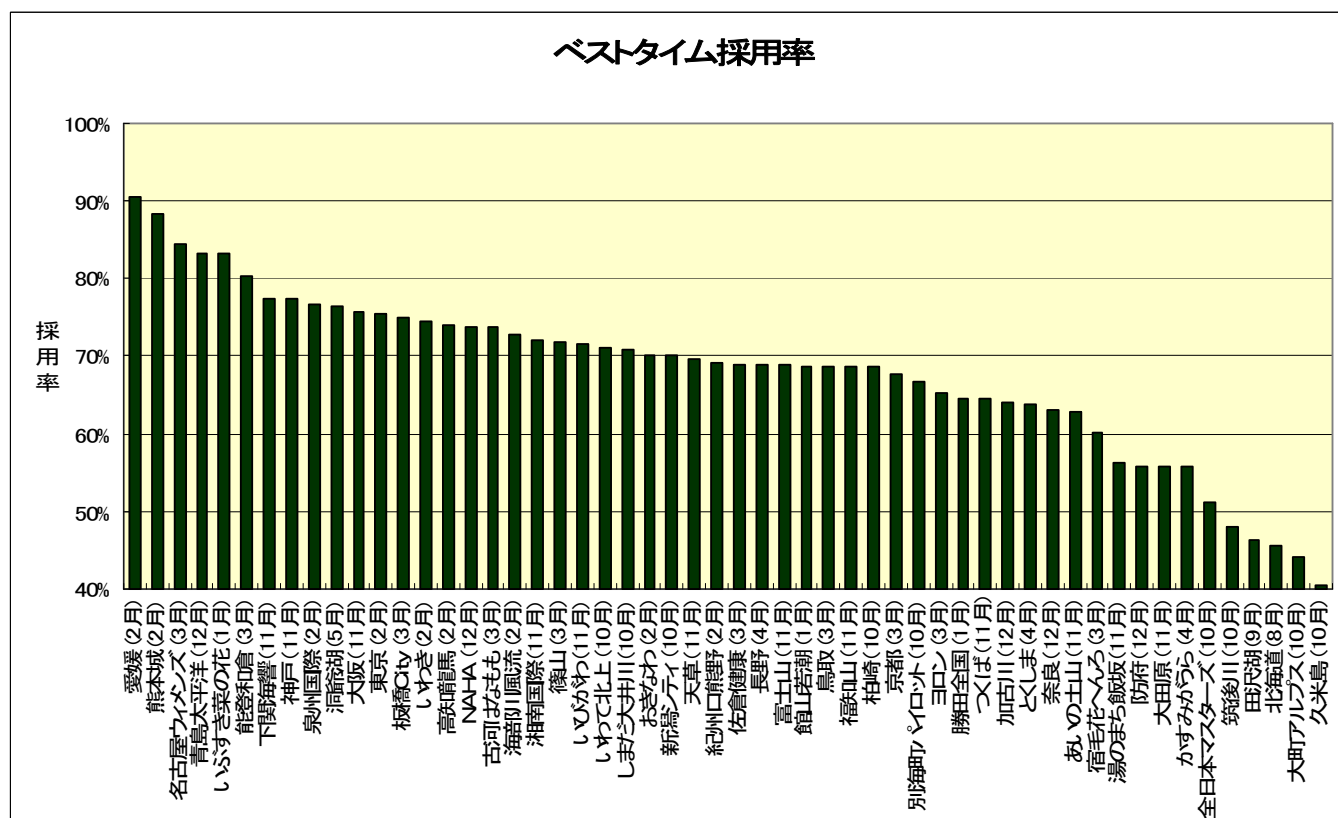


今回は大会別のデータをグラフ化しました。1万人を超える大会は13あります。ベスト4は何れも大都市を走る大会で人気があることが分かります。

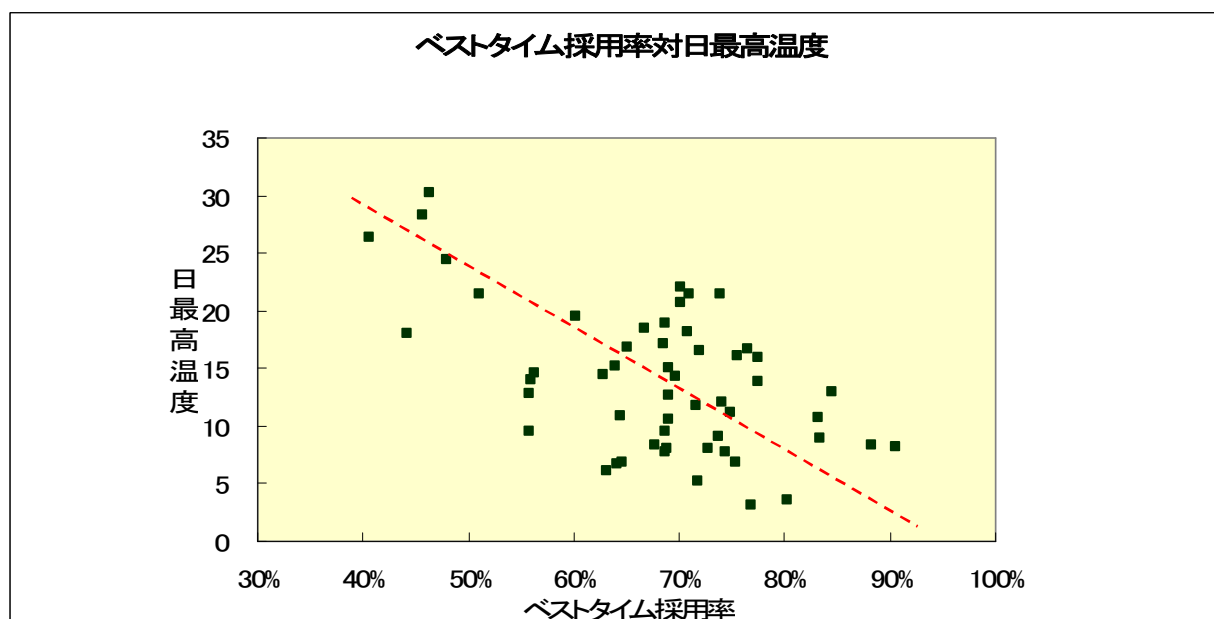


エリートランナーの大会、福岡国際・大阪国際女子・別府大分・横浜国際女子・びわ湖・延岡西日本は除きました。平均タイムは制限時間に比例しています。防府、大田原は4時間、いぶすきは8時間です。制限時間が7時間の大会は15ありますが、その内で九州と四国が7大会を占めています。九州のマラソン人口が多いのがこのグラフから分かるような気がします。

2012年度の全国フルマラソン年齢別ランキングデータ(その4)



大会別のベストタイム採用率が公開されているのでグラフ化しました。ベスト5は何れも12月～3月の冬に開催された大会です。ベストタイムがでるのは寒い時期で恐らくコースが平坦ではないかと思えます。いぶすきが5番目に高いのは初マラソン参加者が多いと思われる。ベストタイムを狙うならこれらの大会に参加することをお勧めします。

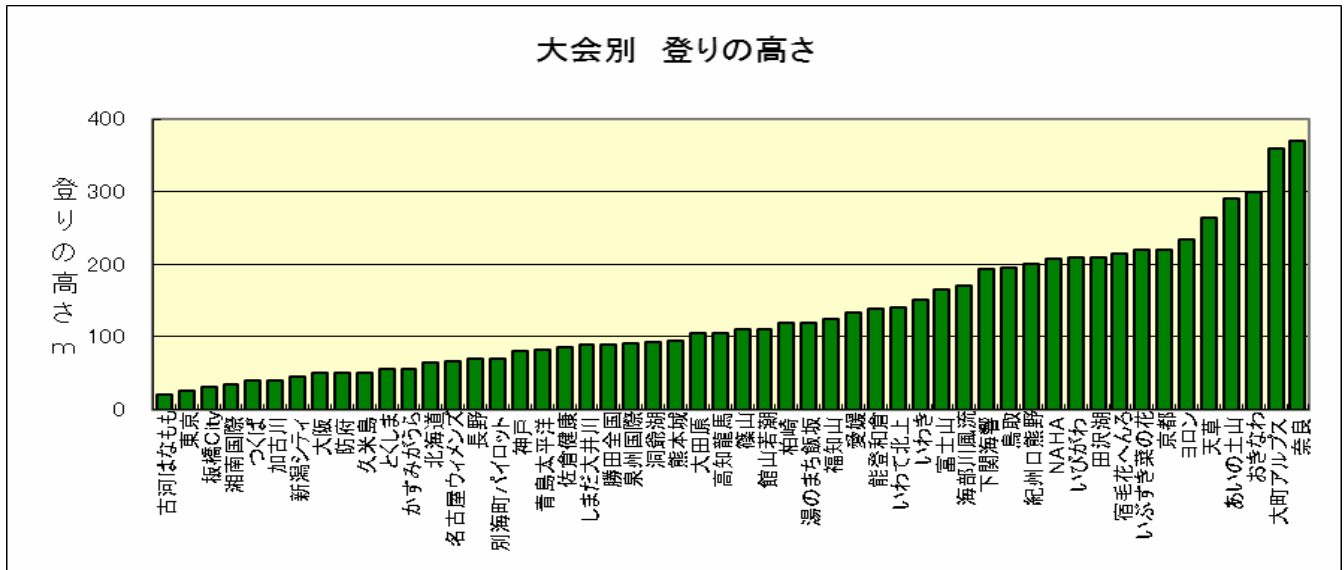


ベストタイムが冬期の大会になっていることから、気温とベストタイム率との関係を示したグラフです。気温は大会開催地に近い気象台データから開催日の最高温度を調査しました。バラツキはありますがおよそ相関関係にあることがわかります。最高温度が25°Cを超える大会はベストタイムが出ないと言えます。

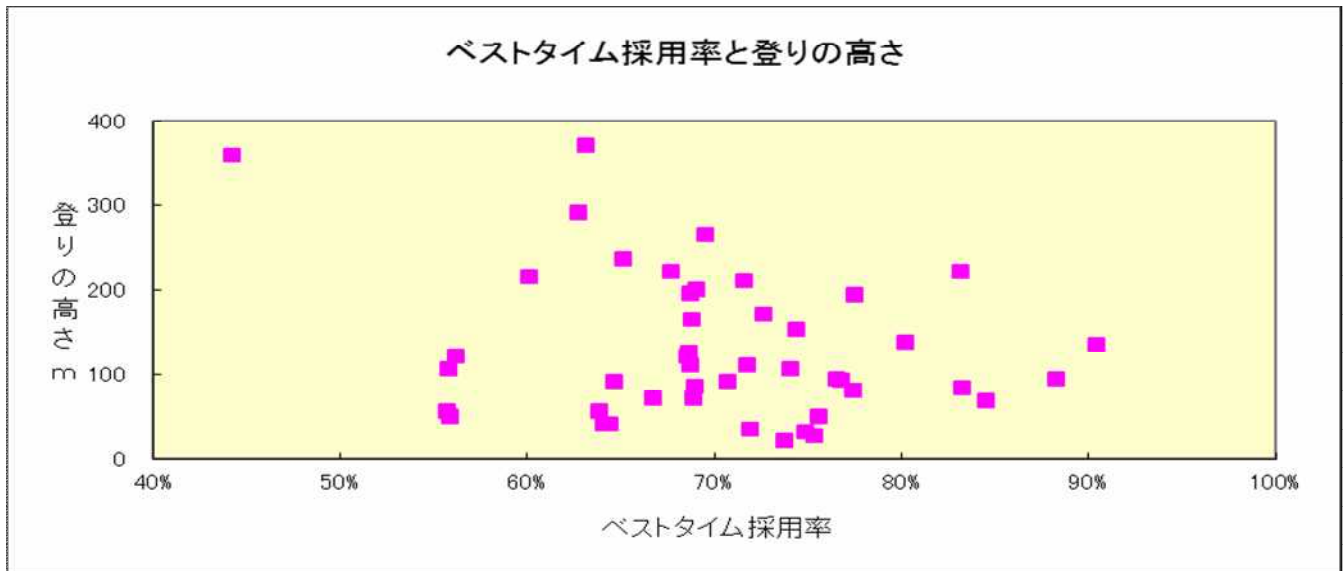
年齢別ランキングからいろいろなグラフを分かり易く作ってみました。参考になったでしょうか。後2～3回連載を続けたいと考えています。果たしてどんなグラフになるでしょうか。

2012年度の全国フルマラソン年齢別ランキングデータ(その5)

各大会のコース高低図を主催者のHPから取得しました。そして登りの高さを全部足したのが次のグラフです。ラフな計算なので誤差が20%~30%はあるかと思います。



ベストタイム採用率と登りの高さに関連関係があるのかどうか散布図を作ったのが次のグラフです。気温との関係をなくすため日最高温度が20℃を超える大会は除外しました。



相関関係が気温と同じように少しはあるだろうと予想していましたが見事に予想が外れました。何故なのか考えてみました。例えば同じ高低差200mの大会がAとBがあったとします。Aは2kmで200m登る大会。Bは20kmで200m登る大会。とします。同じ高さなのでコースの厳しさも同じでしょうか。Aは100mで10mを上がるので傾斜がきつく上りは歩くかも知れませんが。Bは100mで1mしか上がらないので平地と同じスピードで走れてしまうでしょう。AとBの2つの大会は同じ高低差でも走りの厳しさに大きな差を感じずと思います。要は高低差を感じるのはコースの高さではなく傾斜だと思えます。大町アルプス大会は360mも上りますが傾斜はゆるやかです。皆さんは実際に走ってみてどのように感じましたか。

ランキング対象大会でコースの上りが少ない6大会

古河はなもも(20m)



東京シティ(26m)



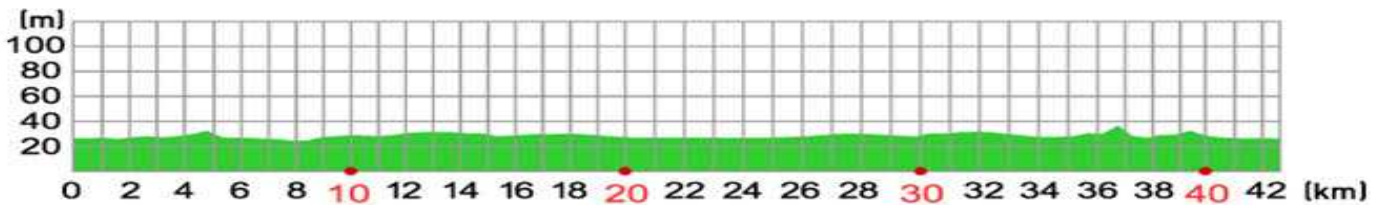
板橋シティ(32m)



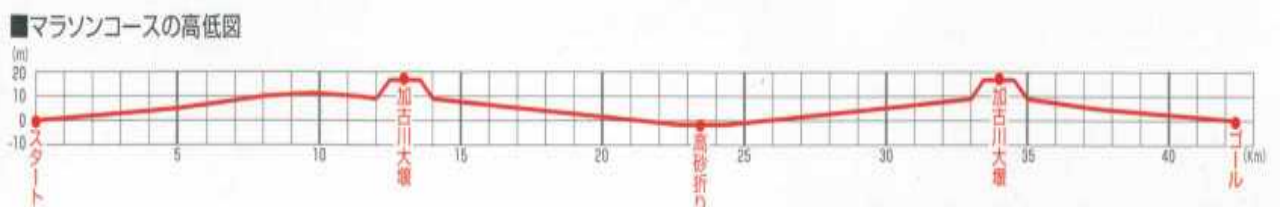
湘南国際(35m)



つくば(40m)

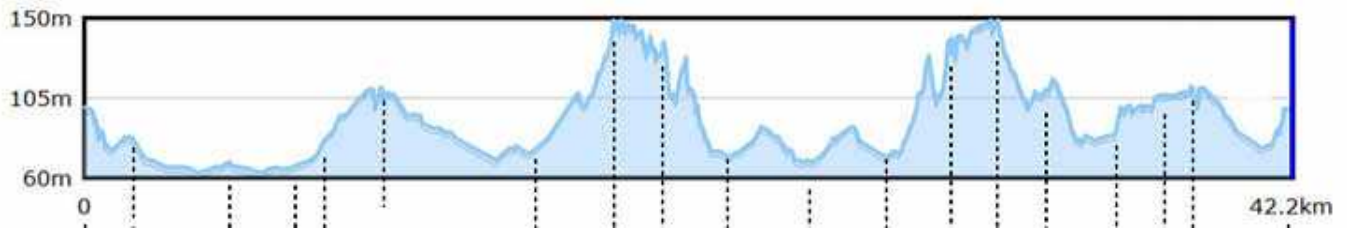


加古川(40m)



ランキング対象大会でコースの上りが高い6大会

奈良(370m)



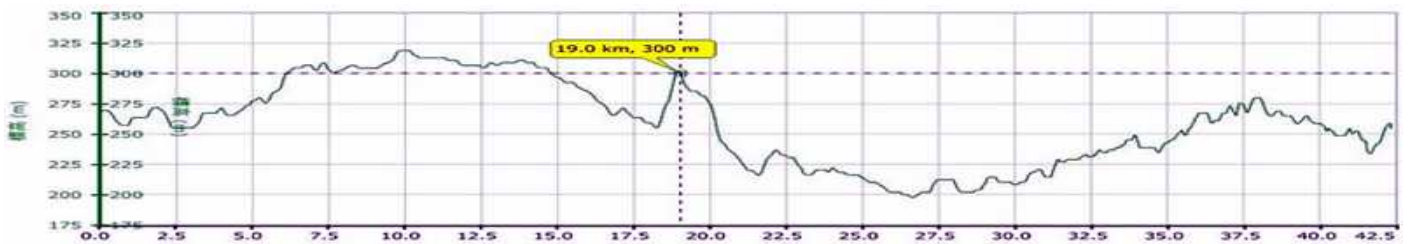
大町アルプス(360m)



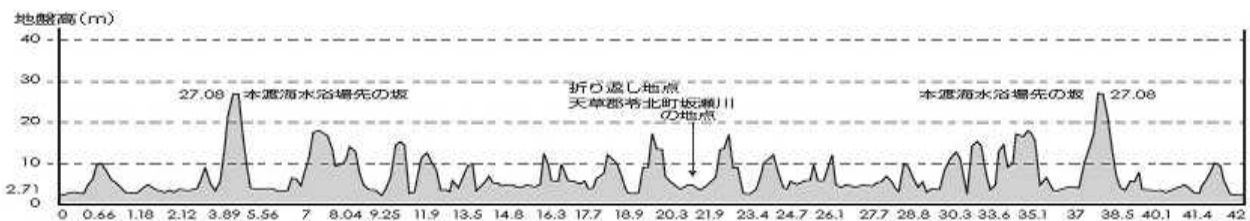
沖縄(300m)



あいの土山(290m)



天草(265m)



ヨロン(235m)

